

よこし作 **今月の司書さん** ⑳

公募 みんなの力を合わせて「みんなとつながるバッグ」を作ろう!

ファッションのまちにふさわしい 自慢したくなるバッグ

審査 思いが合った、提案がたくさん集まりました。その中から、1つを決定!!

過程に物語性があり 早い企画だ。 ユニットの組み立てが面白い。 デザインが良いですね。

製作 選ばれた、NPO 法人とメンバーの主婦の皆さんが作りました。

早くみんなに使ってもらいたい。 大きな布を 丁寧に真直ぐ縫います。

販売 バッグは、3月21日より中央図書館の正面奥のカウンターにて販売します。

5000個限定 5種類は 1000円(税込)です。 お楽しみに!

休館日のお知らせ

- ...図書室休館日
- ...全館休館日

2019	3	MAR				
日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

編集後記：もう3月ですね。早いもので、今年度もあとちょっとなんです。私はちょっとは成長出来たのかを年度ごとに振り返り、反省しています。

岐阜市立図書館

中央図書館	9:00 - 20:00	058-262-2924
分館	9:00 - 21:00	058-268-1061
長良図書室	9:30 - 17:00	058-233-8170
東部図書室	9:30 - 17:00	058-241-2727
西部図書室	9:30 - 17:00	058-234-1633
長森図書室	9:30 - 17:00	058-240-2702
柳津図書室	9:30 - 17:00	058-388-2026

<http://www.g-mediacosmos.jp/lib/>

GIFU CITY LIBRARY NEWS LETTER

3

2019

図書館バッグができました。

みんなの森 ぎふメディアコスモスの「みんな」というフレーズを私たち図書館は大切にしています。みんなとは、顔の見えない抽象的な記号のことでありません。この図書館にやってくるひとりひとりの私やあなたのことだからです。公募で集まったバッグのデザイン案はどれも力作ぞろい、ユニットを組んで応募されるものも多く、これほどメディアコスモスの図書館に愛着を持っていただいているのかと審査員も全員感動するほどでした。

そんなみんなの森の図書館にふさわしい、「みんなとつながるバッグ」がいに決定。3月21日(予定)からここ中央図書館で販売(1個 千円)することになります。あずま袋型のバッグは全国でも他に例がありません。持ち手の結び方によって、手提げにも肩掛けにもなるユニークなもの。デザインから縫製までの製作を担っていただくのは、市内のNPOのお母さんたちです。

私も、布地にお好みでボタンを付けたり、デコレーションしてみたり、それぞれの個性にあった進化を遂げて行ってもらえたらなど楽しい空想をしています。みなさんも、おひとついかがですか。



岐阜市立図書館 館長 吉成 信夫

パブリックスペース 公共空間はどう変わる?

- 本と本屋と図書館の逆襲 -

平成31年3月16日(土) 午後1時~3時20分

「本のある場所」が今、人が集まる「公共空間」として日本中に広がってきています。本屋、図書館、カフェなど事業の垣根を超えて、未来の図書館像について各分野のスペシャリストと語り合います。

定員 / 80名(要申込・先着順)
 申込 / 中央図書館の窓口、電話、E-mailにて受付
 ☎ / 058-262-2924
 ✉ / moushikomi@gifu-lib.jp

メディコス(いつのまにか愛着を込めてメディアコスモスをそう呼ぶひとが多い)が開館して3年9か月が経過した。あらゆる世代の本離れが言われる中であっても、なぜこれほどまでにひとは図書館、本屋、本のある空間に愛着を感じるのか。それは日本だけにみられる現象なのだろうか。メディアコスモスに居て、目線が合うだけでときどきしたり、偶発的に始まるエンカウンターのような僕にはいつも期待している。儲かるだけではない、ひとが集まるだけでもない、目的合理性を越えるものを私たちは公共的空間に求め始めたのかもしれない。逆襲という言葉で(SF映画みたいだが)、業界を越境して、わくわくするコトに取り組む3人の方々と、独断と偏見で自由に語り合う場を設けたい。

岐阜市立図書館 館長 吉成 信夫

トークゲスト



猪谷 千香さん

ジャーナリスト、作家

新聞社で文化部記者などをを経てニコニコ動画ニュース編集者に転職。2013年からニュースサイト「ハフポスト日本版」記者、2018年から弁護士ドットコムニュース記者として、図書館や地方行政の取材を続けている。



『つながる図書館』(筑摩書房)



『町の未来をこの手でつくる』(幻冬舎)

みんなで進めるまちづくりプロジェクト

トークゲスト



内沼 晋太郎さん

ブック・コーディネーター

NUMABOOKS 代表。2012年、ビールが飲めて毎日イベントを開催する新刊書店「本屋 B&B」を東京・下北沢にオープン。「八戸ブックセンター」ディレクターなど本にかかわる様々な仕事を手がけている。



『本の逆襲』(朝日出版社)



『本の未来を探る旅 台北』(共著・朝日出版社)

ソウル版もあります

トークゲスト



平賀 研也さん

県立長野図書館 館長

法務・経営企画マネージャーとして企業に勤務。米国中西部にて経営学を学ぶ。2001年、伊那に移住。公共政策シンクタンクの研究広報誌編集主幹を経て、2007年伊那市立伊那図書館長に就任し、2013年に Library of the Year 大賞を受賞。2015年県立長野図書館館長に就任。



県立長野図書館の3階に「信州・学び創造ラボ」がオープン!!

ここは、とびきり心地よく刺激的なサードプレイス! 「共知・共創」の場。

ナビゲーター



吉成 信夫

岐阜市立図書館 館長

コンサルティング会社役員などを経て、家族で岩手に移住。「石と賢治のミュージアム」、「森と風のがっこう」、岩手県立児童館「いわて子どもの森」館長を経て、2015年岐阜市立図書館館長に就任。『ハコモノは変えられる! - 子どものための公共施設改革 -』(学文社)



↑詳しくは裏面の4コママンガをご覧ください。

3月21日(予定)より、「みんなとつながるバッグ」を販売します。主婦の皆さんがデザインから縫製まで手がけました!

チャレンジ! ビジネス!!

お知らせ

「ビジネスチャレンジ支援相談窓口」の開催日が変わります。創業、事業承継、売上向上、商品開発、資金繰り、人材育成、広告宣伝など各種経営のご相談をお受けする「ビジネスチャレンジ支援相談窓口」の開催日が4月より変わります。

日時: 毎週 火曜日 ※ 毎週 木曜日 午後2時~7時30分 (祝祭日は休み)
 場所: 中央図書館 レファレンスカウンター

※毎月最終火曜日は休館日のため、第4土曜日の午前10時~正午・午後1時~6時に振り替えます。

「ビジネスチャレンジ支援相談窓口」は、「岐阜県よろず支援拠点」のコーディネーターが対応し、図書館司書も同席してご相談内容に合った本やデータベース情報などをご案内いたします。相談料は無料。事前予約なしで、何回でもご利用いただけます。お気軽にご相談ください。

イベント 案内

中央

3/1
(金)
3/8
(金)
3/15
(金)ビジネス支援セミナーII
病気治療と仕事の両立を支える
～続けることをあきらめないために～

病気治療をしながら働く人、その家族、事業所の方向けのセミナーです。病気治療をしながら働き続けられるしくみ、それを支援する機関についてなど、働く人と雇用する事業所両方の立場からご紹介します。

働きながら治療したい～両立するために～

日時：3月1日(金) 午後6時30分～8時 場所：あつまるスタジオ
講師：服部 佳朗 さん(岐阜市民病院がん相談・がん就労支援室)

病気の従業員を支えたい～会社でできる理解と配慮～

日時：3月8日(金) 午後6時30分～8時 場所：つながるスタジオ
講師：森 千晴 さん(岐阜産業保健総合支援センター 両立支援促進員)

働きながら治療しました～体験に学ぶこと～

日時：3月15日(金) 午後6時30分～8時 場所：あつまるスタジオ
講師：豊増 さくら さん(乳がん患者会代表)、岡本 記代子 さん、久田 邦博 さん

定員：各回15名(要申込・先着順)

受講料：無料

申込み：中央図書館の窓口または電話・FAX・Eメールにて受付。申込みの際は、住所・氏名・電話番号・参加希望回・質問等をお伝えください。

ビジネス支援資金相談会

起業や事業拡大に必要な資金調達のための個別相談会を開催します。金融機関の融資担当者に加えて図書館司書も同席し、事業に役立つ資料の案内も行います。

午後2時～、3時～(1人45分程度)

場所：分館 ミーティングルーム
相談員：日本政策金融公庫 岐阜支店 融資担当職員
定員：2名(先着順)
相談料：無料

申込み：3月10日(日) 午後8時まで、分館・中央図書館の窓口、電話・FAX・Eメールにて受付。申込みの際は『資金相談会希望』、氏名、住所、電話番号、性別、年齢、具体的な業種、起業の状況と時期(予定)をお伝えください。

並木道読書会 Vol.18

本について語り合うトークイベントです。今をときめく人気女性作家の作品について、めいめい語り合しましょう♪

午前10時～11時(開場：9時45分)

場所：中央図書館 南東読書スペース
テーマ作品：①「舟を編む」 三浦 しをん
②「かがみの孤城」 辻村 深月
③有川 浩さんの作品

申込み：中央図書館の窓口または電話・Eメールにて受付。
氏名、参加を希望するテーマ作品、連絡先をお伝えください。
※参加申込が少ないテーマについての話し合いは中止。

ぎふ
ライブラリークラブ
-G・L・C-4/13
(土)

中央

第3回「科学する絵本」
～タンポポちょうさ員になろう～

身近な春の花・タンポポ。『たんぽぽ』の絵本を読み、植物博士から知っているようで知らないタンポポの秘密を聞き、野外観察し、タンポポを使ってレジン・アクセサリーを作ります。タンポポ調査・岐阜2020と関連したイベントです。

午後1時30分～4時(開場：午後1時)

会場：みんなの森 ぎふメディアコスモス 1階 ドキドキテラス
司会：浅井 彰子 さん(フリーアナウンサー)
ゲスト：柳沢 直 さん(岐阜県立森林文化アカデミー 教授)
制作指導：Mimi Dumalaog さん(名古屋大学 大学院生)

対象：小学生以上の親子

定員：20組

材料費：1組500円

申込み：3月15日(金)より、中央図書館窓口または電話にて受付。お申込みの際は、代表者の氏名、電話番号、子どもの人数と学年、大人の人数を
お伝えください。



『たんぽぽ』
甲斐 信枝/作・絵
(金の星社)



おすすめ 本 純喫茶へようこそ

おうちで作れる老舗のカフェスイーツ

山村 光春/監修 世界文化社 (596.65オ)

「老舗」と呼ばれるお店には、その歴史を長年支えてきた技があります。この本ではその一端にご家庭で触れることができます。レアチーズケーキ、レモンパイなどを作って、今日はおうちで純喫茶の気分を味わってみてはどうでしょうか。

お菓子づくりの工程がとてつもなく丁寧に書かれていますのでオススメです!



会社をやめて喫茶店をはじめました

金井 ナオミ、花小金井 正幸/著 イースト・プレス (673.98カ)

ごく普通の派遣OLが見つけた「自分がやりたいこと」。それは、自分の理想の喫茶店を開くことでした。物件探しに始まり、コーヒー豆の調達、メニュー作り…、家族や大家さん、たくさんの人に支えられたオープンまでの軌跡を優しいタッチで描きます。

エピソードの主人公の笑顔とても素敵です!



【新着図書】

純喫茶の空間

難波 里奈/著 エクスナレッジ (596.7ナ)

ソファやテーブル…喫茶店で、インテリアのひとつひとつに目を向けてみるのも、楽しみのひとつ。この本では東京都にある34軒の喫茶店を探り上げ、照明や壁紙はもちろん、レジャー灰皿といった小物に至るまで、数々の個性豊かな空間を紹介しています。

椅子などの模様にも注目してみてください!



予約

1

宝島

真藤 順丈/著 講談社 Fシン

BEST

2

一切なりゆき

樹木 希林/著 文藝春秋 778.2キ

5

3

昨日がなければ明日もない

宮部 みゆき/著 文藝春秋 Fミヤ

4

すぐ死ぬんだから

内館 牧子/著 講談社 Fウチ

5

平成くん、さようなら

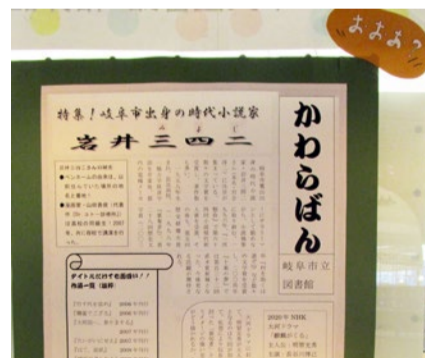
古市 憲寿/著 文藝春秋 Fフル

2019年1月11日～
2019年2月10日

展示 PICK UP

「岩井 三四二でござる」

展示グループでは、岐阜市鷺山出身の歴史小説家・岩井 三四二さんの特集します。「難儀でござる」「城は踊る」「とまどい関ヶ原」など思わずクスッとしてしまう妙味なタイトル、大胆な歴史観と登場人物を魅力的に語る筆運びにファンも多い実力派です。2020年度NHK大河ドラマ「麒麟がくる」の主人公・明智光秀も、岩井 三四二流ではどう描かれるのでしょうか、ぜひ作品をご覧ください。



西部図書室 NEWS

「毎月変わるおすすめ本」



西部図書室では、入ってすぐ右手のブックトラックにおすすめ本のコーナーを設けています。展示している本は、子どもから大人まで選んでいただけるように、季節の行事や時事的なことに合わせたジャンルを問わない本が集めてあります。今まで読んだことのない素敵な本に出会う機会になれば、嬉しいです。ぜひ、お近くにお越しの際は立ち寄ってご覧ください。